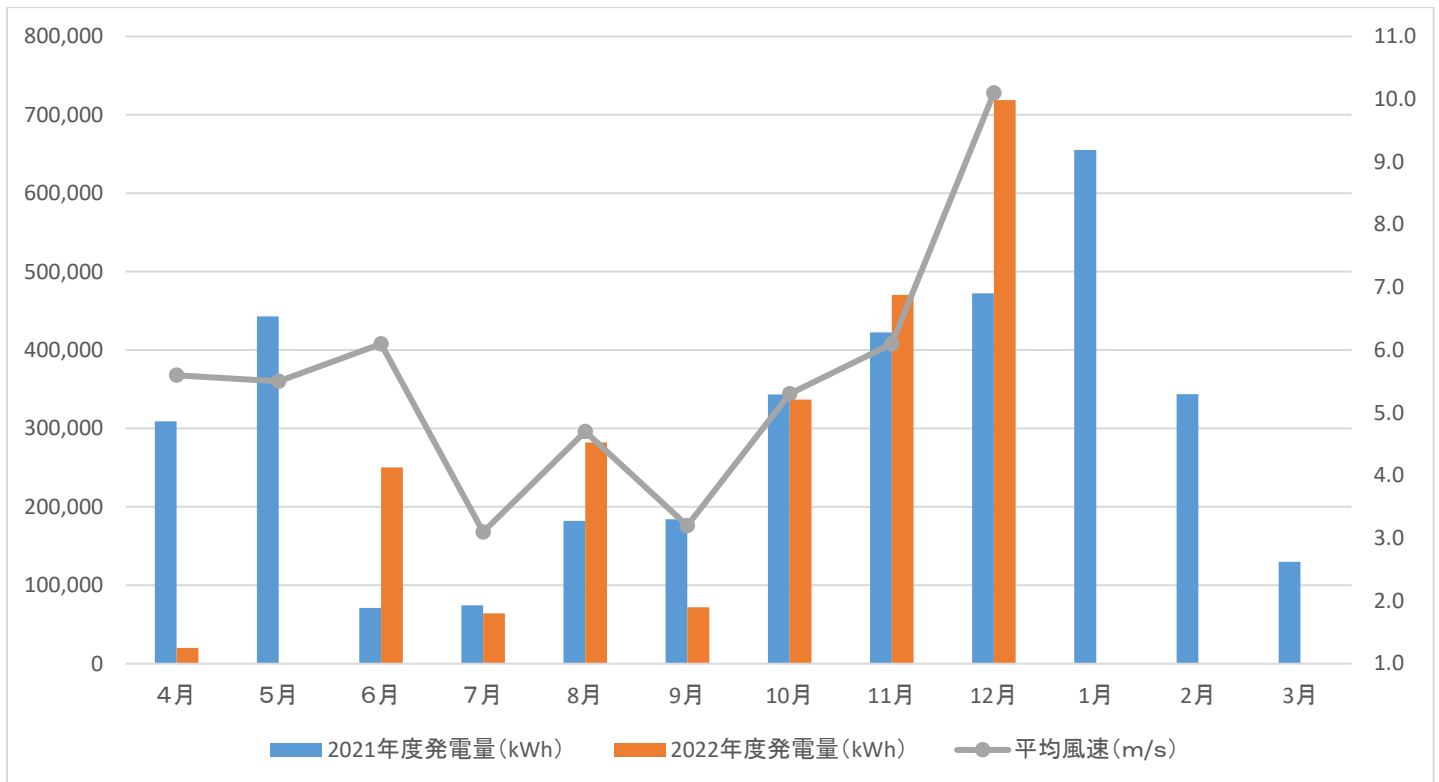


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 鈴木伸予

## ○ 2022 年度発電実績



### 11月度運転状況について

- 風況は前年同月に比べ、1.3m/s 低い実績でした。
- 不具合が少なく順調に発電したことから、発電量は前年比111.3%と高くなりました。

### 12月運転状況について

- 風況は前年同月と比べて0.3m/s高い実績でした。冬季に入り、風の強い日が多くなっています。
- 前年は増速機の損傷を防ぐため強風時の停止を行ったため発電量が落ちていました。その為、今年度の発電量は前年比152.1%と高くなっています。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	20,059	5.6	1.4
5月	0	5.5	0.5
6月	250,123	6.1	50.6
7月	64,236	3.1	97.7
8月	282,283	4.7	99.7
9月	72,029	3.2	84.7
10月	336,975	5.3	97.6
11月	470,340	6.1	99.5
12月	718,769	10.1	88.2
1月			
2月			
3月			

## にかほ市との連携推進協議会幹事会報告

12月27日、にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会2022年度第2回幹事会を開催しました。

主な議案は、夢風の稼働状況報告、2022年度活動の中間まとめと2023年度活動方針素案、子供向け環境プログラムの実施の検討、デポーにかほフェア実施計画、にかほ院内風力発電建設に向けた進捗報告、にかほ市自然エネルギーによるまちづくり基金の執行状況報告、ゾーニングマップに基づく条例制定の進捗報告です。

2022年度活動の中間まとめでは、組合員リーダーツアーを3年ぶりににかほ市で開催できよかったという事を共有しました。2023年度活動方針では、にかほ市の脱炭素化に向けた計画づくりを推進する事、交流を広げて漁業関係者との交流を検討したい事などについて意見交換を行いました。また、にかほ市は来年度、松尾芭蕉が訪れた象潟の九十九島の周辺の農地の整備もすすめるとのことです。

にかほ市のゾーニングマップに基づく条例「にかほ市風力発電事業と生活環境等の調和に関する条例」は、12月定例議会で可決され、令和5年4月1日施行との報告を受けました。

## NHK 秋田局「ニュースこまち」で夢風の取り組みが放送されます

NHK 秋田局より、「再生可能エネルギー 鍵は地域との共生」というテーマで、生活クラブ風車を通じた生活クラブとにかほ市や芹田自治会、生産者との取り組みについての取材を受けました。

12/27、にかほ市との連携推進協議会や、芹田自治会の竹花会長、荒川前会長との交流の様子、(株)飛良泉本舗の斉藤社長との夢風ブランドの協議の様子の撮影を頂きました。

1/19(金)18:00から「ニュースこまち」で放送されました。地元では高い評価を受けています。首都圏では、NHK 秋田局のホームページからご覧いただけます。



芹田自治会館にて。中央左：竹花会長。中央右：荒川前会長



# 夢風ブランド品と特産品の共同購入

生活クラブでは、にかほの生産者と組合員が共同で開発した生活クラブオリジナルの「夢風ブランド」品の他にも、にかほ市や秋田県の特産品の共同購入を行っています。

12月には、夢風ブランド品の「純米大吟醸・夢風」や「タラーメン」「鱈しよっつる」、秋田の郷土料理きりたんぼ鍋の「きりたんぼ」を取り組みました。純米大吟醸・夢風は、(株)飛良泉本舗と生活クラブ神奈川の組合員が開発し、ラベルも組合員がデザインしています。年末年始のお祝い酒として好評でした。きりたんぼは、しっかり焼いているため香ばしく煮崩れしにくいと好評です。

**新酒 蔵出し一番**

**秋田の新米を磨き上げた 純米大吟醸 夢風**

秋田県産の酒造好適米「秋田こしひかり」を50%まで磨き、つくば低温発酵させた。この時期ならではのフレッシュな香りと旨みをお楽しみください。

フルーティな香り  
あと味 スッキリ

生活クラブオリジナルの日本酒

108489 純米大吟醸 夢風  
1.950円(税込1,450円)

11/28(月)~12/2(金)  
12/19(月)~12/23(金) 12月3日

**風車のまにかほ市の生産者とつくる 秋田県の特産品紹介**

秋田の郷土料理「きりたんぼ鍋」をおうちで手軽に!

秋田県産米 100%  
香ばしく煮崩れにくい

108471 きりたんぼ 3本入り  
280円(税込300円)

きりたんぼ鍋のスープにも 身体にしみわたる鱈しよっつるの旨み

108365 鱈しよっつる  
940円(税込1,010円)

108372 プレーン大福餅  
354円(税込370円)

生活クラブは地球環境に負荷をかけない再生可能エネルギーへの転換をめざします

産地や生産者がわかる「生活クラブでんき」

3年ぶりの現地視察で「脱炭素化」に向け課題を共有

生活クラブ「夢風」の賞に「加わりませんか」

0120-112-075

2月には、夢風ブランド品の秋田県魚のハタハタを使った「はたはたおいる漬け」やにかほ市の名産の鱈を使った「鱈しよっつる」、「タラーメン」、「純米大吟醸・夢風」の4品目に加えて、「きりたんぼ」「比内地鶏スープ」「象潟うどん」「無添加甘酒」「秋田味噌こし」「めんこいなりんごジュース」を取り組みます。「比内地鶏スープ」は秋田でおなじみの醤油味できりたんぼ鍋にぴったりなスープです。この機会にぜひお試しください。

**風車のまにかほ市の生産者とつくる 夢風ブランド**

生活クラブは再生可能エネルギーの転換をめざし、2012年、秋田県にかほ市で生活クラブ産地直営事業を開始しました。お米を中心とした秋田県産産物の開発・販売を行っています。今回は夢風の「夢風ブランド」の4品目に加え、秋田県産の特産品も紹介いたします。この機会にぜひお試しください。

111333 はたはたおいる漬け  
619円(税込660円)

111309 純米大吟醸 夢風  
1.950円(税込1,450円)

111325 鱈しよっつる  
940円(税込1,010円)

111317 タラーメン  
354円(税込370円)

**次予告 秋田県の特産品紹介**

秋田の郷土料理「きりたんぼ鍋」をおうちで手軽に!

秋田県産米100%  
香ばしく煮崩れにくい

きりたんぼ 3本入り  
280円(税込300円)

きりたんぼ鍋に欠かせない 比内地鶏スープ

比内地鶏スープ  
205円(税込211円)

つるとしたのどごし! 秋田産原料にこだわって造りました

秋田味噌(こし)  
680円(税込734円)

めんこいなりんごジュース  
1,204円(税込1,280円)

生活クラブ「夢風」の賞に「加わりませんか」

0120-112-075



## 政府のGX方針に反対します

昨年12月22日、税府はGX(グリーントラストインフォメーション)実行会議やその他政府の審議会等における議論を踏まえ、「GX実現に向けた基本方針～今後10年を見据えたロードマップ～」を取りまとめました。

その内容は、「原発の寿命の60年超え」「再稼働の加速」「原発を新規に建設」など、国のテコ入れによる原子力のいっそうの推進、原子力重視路線への強引な回帰です。これは、国会で審議をえていないことや4ヶ月余りで早急に決定された事など、いまの日本の多数意見とはいえません。

### ◇GX基本方針にある原子力政策

1. 原子力を最大限利用する。原発再稼働を進め、電源構成で「2030年度に原子力比率20～22%」(第6次エネルギー基本計画の目標)を達成する。
2. 原発の建て替え・新設も行う。新たな安全メカニズムをもつ次世代革新炉の開発・建設に取り組む。
3. 研究開発や人材育成、サプライチェーン維持・強化への支援拡充。
4. 「原則40年、最長60年」とされる原発の運転期間の延長を認める。
5. 六ヶ所再処理工場の竣工など核燃料サイクルを推進する。
6. 放射性廃棄物など最終処分具体化を進める。国主導で国民理解の促進。

東京電力福島第一原発事故のあと、原発では安全対策工事費がかさんだ一方で、再稼働はあまり進まず、2021年の原発の発電比率は6%と低迷しています。「2030年に20～22%」の目標は遠く、原発の新増設となると反発が大きくエネルギー基本計画でも新増設に言及していませんでした。「次世代革新炉」は、今ある炉か今後できる炉かははっきりしませんし、最近フランスが国内外で建設している新型軽水炉「EPR」は、日本の炉よりは進化しているが、「革新炉」というほどの安全性の大幅アップはありません。それでも建設費は一基1兆円を超えます。最近よく話題にのぼる小型モジュール炉(SMR)もコスト高など課題が多くあります。

福島原発事故から12年が経ちます。飯館電力は、全村避難を強いられた飯館村に、再生化可能エネルギーで未来に人をつなごうと、村民の出資で太陽光発電所を64基設置しています。飯館電力のモニターツアーに12月に参加しました。飯館村には新しい道の駅や小中一貫校など建物は出来ましたが、若い人は戻っておらず、人が暮らしていた地域のつながりなど本当の復興は全く終わっていないことを、目の当たりに感じました。

原発事故を経験している日本でなぜ原発回帰なのでしょう？再生可能エネルギーで脱炭素をすすめ、地域からの脱炭素を実現しましょう。

